

事務事業の点検評価結果報告書

令和5年度

関市教育委員会

令和6年10月15日

はじめに

関市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和5年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価（以下「点検評価」という。）を行い、その結果に関する報告をここにまとめました。

1 点検評価の実施経過

点検評価の実施については、教育委員会各課がその所管する事務事業について自己評価（1次評価）を行い、点検評価をより適正なものとするため、外部の学識経験者等である教育委員会評価委員が各課の作成した点検評価表をもとにヒアリングを行い、評価委員による評価（2次評価）を行いました。

その後、教育委員会は、教育委員会評価委員の評価（2次評価）をもとに、教育委員会会議において最終評価を実施しました。詳細については、教育委員会点検評価表全件リストに掲載しました。

2 点検評価の実施方法

この点検評価の方法につきましては、「令和5年度教育委員会各課等の方針と重点」に基づいて実施した事業について、次に示す4区分により達成度を評価しました。

- A 順調に執行している
- B 概ね順調に執行している
- C 執行見込みであるが、課題があるもの
- D 順調に執行されていないもの

<点検評価最終結果について>

全体の概要

評 定	内 訳	率	前年度内訳	前年度率
A 順調に執行している	62	79.5%	66	81.5%
B 概ね順調に執行している	16	20.5%	15	18.5%
C 執行見込みであるが、課題があるもの	0	0%	0	0%
D 順調に執行されていないもの	0	0%	0	0%
計	78	100.0%	81	100.0%

○ 各課別の点検評価結果の概要

課 題	A	B	C	D	前年度			
					A	B	C	D
教育総務課	11	7	0	0	12	6	0	0
学校給食センター	6	0	0	0	6	0	0	0
学校教育課	10	4	0	0	11	4	0	0
まなびセンター	31	4	0	0	33	4	0	0
関商工高等学校	4	1	0	0	4	1	0	0
計	62	16	0	0	66	15	0	0

※地域事務所の事務事業評価については、予算措置をする教育委員会の各課が包括して実施しています。

3 教育委員会評価委員

点検評価にあたっては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の「教育に関し学識経験者の知見の活用を図るものとする。」という規定に基づき、下記の委員の方に関市教育委員会評価委員を委嘱し、点検評価（2次評価）を実施しました。

氏 名	職業又は前職
北 瀬 美 幸	関市社会福祉協議会会長
小 川 優 二	会社社長
長 尾 芳 弘	元中学校校長

教育委員会点検評価表全件リスト（令和5年度事業）

課名 教育総務課

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			北瀬	小川	長尾		
1	教育委員会事業	A	A	A	A	A	A
2	教育委員会事務局事業	A	A	A	A	A	A
3	教職員住宅管理運営事業	B	B	B	B	B	B
4	奨学資金貸付事業	B	B	B	B	B	B
5	中濃校舎管理事業	A	A	B	B	B	A
6	通学路安全対策事業	B	B	A	B	B	B
7	校務員配置事業	A	A	A	A	A	A
8	校舎等管理事業	A	A	A	A	A	A
9	新型コロナウイルス感染症対策事業	A	A	A	A	A	A
10	備品管理事業	A	A	A	A	A	A
11	学校プール管理事業	A	A	B	A	A	A
12	学校運営費配分事業	A	B	A	A	A	A
13	運動場管理事業	B	B	B	B	B	B
14	教育ネットワーク・教職員用パソコン整備事業	A	A	A	A	A	A
15	スクールバス事業	A	A	A	A	A	A
16	学校建設事業	A	A	A	A	A	A
17	放課後子ども教室事業	B	B	A	B	B	B
18	留守家庭児童教室事業	B	B	B	B	B	B

課名 学校給食センター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			北瀬	小川	長尾		
1	安全・安心な学校給食センター充実	A	A	A	A	A	—
2	食物アレルギーへの対応	A	A	A	B	A	A
3	地産地消の推進	A	A	A	A	A	A
4	食育広報の推進	A	A	A	A	A	A
5	施設、設備の維持管理	A	A	A	A	A	—
6	学校給食費の徴収	A	A	A	A	A	A

課名 学校教育課

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			北瀬	小川	長尾		
1	人権推進教育事業	A	A	A	A	A	A
2	研究指定校、モデル事業	B	B	A	B	B	A
3	学校安全事業	B	B	B	B	B	B
4	特別支援事業	B	A	B	B	B	A
5	教育相談事業	B	B	B	B	B	B
6	就学支援事業	A	A	A	A	A	A
7	わかあゆプラン事業	B	A	A	A	A	A
8	外国籍児童生徒等教育相談員派遣事業	A	A	A	B	A	A
9	学校図書利用促進事業	A	A	A	A	A	A
10	学校各種教育事業	A	A	A	A	A	B
11	学校保健事業	A	A	B	A	A	A
12	P T A 連合会活動支援	A	A	A	A	A	A
13	学校教材整備事業	A	A	A	A	A	A
14	情報機器整備事業	A	A	A	A	A	A

課名 まなびセンター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			北瀬	小川	長尾		
1	教職員の資質向上研修 オンラインによる研修	A	A	A	A	A	A
2	教職員の資質向上研修 夏期重点研修	A	A	A	A	A	A
3	教職員の資質向上研修 初任者研修	A	A	A	A	A	A
4	教職員の資質向上研修 授業力向上研修	A	A	A	A	A	A
5	教職員の資質向上研修 カリキュラム・マネジメント研修	A	A	A	A	A	A
6	教職員の資質向上研修 学級活動研修	A	A	A	A	A	A
7	教職員の資質向上研修 ほめ方向上研修	A	A	A	A	A	A
8	教職員の資質向上研修 伸びゆくまち関市改訂委員会	A	A	A	A	A	A
9	教職員の資質向上研修 関市教育実践記録	A	A	A	A	A	A
10	教職員の資質向上研修 文献資料室の活用	A	A	A	A	A	A
11	STEAM 教育の推進 ICT 支援員による学校訪問	A	A	A	B	A	A
12	STEAM 教育の推進 プログラミング、ドローンの出前授業	A	A	A	A	A	A
13	STEAM 教育の推進 情報モラル出前授業	B	B	B	B	B	B
14	STEAM 教育の推進 STEAM ツアー	A	A	A	A	A	—

課名 まなびセンター

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			北瀬	小川	長尾		
15	STEAM教育の推進 ICT 県研究指定校支援	A	A	A	A	A	A
16	STEAM教育の推進 関市 ICT 支援 SITE の充実	A	A	A	A	A	A
17	STEAM教育の推進 科学作品フェスティバル	A	A	A	A	A	—
18	不登校児童生徒への支援 教育相談窓口の開設	A	A	A	A	A	A
19	不登校児童生徒への支援 「ふれあい教室」の運営	B	B	A	B	B	A
20	不登校児童生徒への支援 ふれあい親の会の開催	A	A	B	A	A	A
21	不登校児童生徒への支援 子育て保護者研修会	A	A	A	A	A	A
22	不登校児童生徒への支援 通信制高等学校等説明会	A	A	A	A	A	A
23	不登校児童生徒への支援 子ども家庭課との連携	B	B	B	B	B	B
24	不登校児童生徒への支援 不登校予防対策事業（発達心理検査）	A	B	A	A	A	A
25	不登校児童生徒への支援 関市校内フリースクール（L教室）	B	B	B	A	B	—
26	児童生徒の学習支援・能力開発 関市子ども美術展	A	A	A	A	A	A
27	児童生徒の学習支援・能力開発 関市小中学校連合音楽会	A	A	A	A	A	B
28	児童生徒の学習支援・能力開発 関市児童生徒科学作品展	A	A	A	A	A	A
29	社会教育活動支援 プラネタリウム	A	A	A	A	A	A
30	社会教育活動支援 市民天体観望会	A	A	A	A	A	A
31	社会教育活動支援 パソコン同好会支援	A	A	A	A	A	A
32	その他の事業 関市版寺子屋事業	A	A	A	A	A	A
33	その他の事業 所報「ときめき」	A	A	A	A	A	A
34	その他の事業 「伸びゆくまち関市」改訂・配付	A	A	A	A	A	A
35	その他の事業 「まなびセンターの歩み」発行	A	A	A	A	A	A

課名 関商工高等学校

番号	事業名	課の自己評価	評価委員評価			最終評価	前年度評価
			北瀬	小川	長尾		
1	教育振興事業	A	A	A	A	A	A
2	学校施設の維持管理事業	B	B	A	B	B	B
3	施設整備事業	A	A	A	A	A	A
4	教職員給与等管理事業	A	A	A	A	A	A
5	保健事業	A	A	A	A	A	A

教育委員会点検評価別表（令和5年度事業）

評価委員の意見等を掲載しています。

《教育総務課》

長尾評価委員

番号	1	評価	A	事業名	教育委員会事業
<p>教育に関わる分野においては、数値で成果を表せないものが多く、また長期的スパンでとらえないと教育的価値を見だしにくい事業がほとんどである。そんな中、教育総務課が、教育委員会の各種事業の実施目的や意義を明確にし、予算を死守し、学校教育を強力に後押ししている。</p>					

小川評価委員

番号	3	評価	B	事業名	教職員住宅管理運営事業
<p>教職員住宅の利用率が低下している現実があり、そこには様々な背景が考えられるが、予算が計上されている以上、施設の充実をさらに図る、または他の方法でのバックアップを今後考えていただきたい。</p>					

小川評価委員

番号	4	評価	B	事業名	奨学資金貸付事業
<p>金銭的な事情で就学を諦める生徒が多いと聞きます。条件を多少緩和するなどして、少しでも多く活用していただけるような仕組みづくりを期待します。やはり学びの場の提供は何にも代えがたいものだと思います。</p>					

小川評価委員

番号	5	評価	B	事業名	中濃校舎管理事業
<p>体育館を貸出すなど一定の活用実態はあるものの、まだ他にも活用の方法があると思います。「廃墟」とならないよう日頃から風を通し、新たな活用の仕方を模索して欲しいと思います。</p>					

長尾評価委員

番号	5	評価	B	事業名	中濃校舎管理事業
<p>中濃校舎についての物理的管理運営については、十分になされている。今後は、運用面において、有効活用を図る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校や分級の児童生徒の特別活動の場所として ・災害時の一時的な避難場所として など 					

小川評価委員

番号	6	評価	A	事業名	通学路安全対策事業
<p>近年は自動車だけでなく、熊・イノシシ・猿等から守る対策も必要となっていており、対策を実際に講じるのはとても大変なことから推察いたします。担当課（土木課）と密に連携して通学路の安全確保に努めてください。</p>					

長尾評価委員

番号	6	評価	B	事業名	通学路安全対策事業
<p>大規模地震が想定される中、関係課・自治体・関係団体とも連携を図り、常に通学路等の安全確保について、アップデートをし続ける体制を維持していくことが望まれる。</p>					

小川評価委員

番号	11	評価	B	事業名	学校プール管理事業
<p>泳げない児童生徒が昔より増えているような気がします。プールの維持管理は大変なことと思いますが、泳げる環境をもっと充実させた方がいいと思います。個人的には、部活動が盛んな関商工にプールを設置して欲しいです。</p>					

北瀬評価委員

番号	12	評価	B	事業名	学校運営費配分事業
<p>桜学館（桜ヶ丘小中学校の分級）の運営については、分級の児童生徒及び教職員が安心して生活や学習ができる環境の整備を行うことができるよう、岐阜県・関市・運営事業者の3者が分級の実態を十分把握するとともに、改善に向けた協議を重ねて欲しい。</p>					

長尾評価委員

番号	12	評価	A	事業名	学校運営費配分事業
<p>社会見学等の費用がカットされたが、学校側は学校予算をやりくりしながら図書見学等を行っている。必要とされる予算について再考をお願いしたい。</p> <p>桜ヶ丘小中学校の分級の運営については、他の市町村から児童生徒が来ているのにも関わらず市費で賄われている部分が多い。県からの支援も受けることができるよう働きかけたい。</p>					

小川評価委員

番号	13	評価	B	事業名	運動場管理事業
<p>運動場の管理（特に雑草対策）において、PTAに頼り過ぎているように感じます。各学校の教職員の皆さんでもう少し対処できるのではないのでしょうか。そのために必要な草刈機などは備品として購入してもいいのでは。</p>					

北瀬評価委員

番号	15	評価	A	事業名	スクールバス事業
<p>小学校の統廃合が進むことにより、スクールバスの台数も増え、それに伴う運転手の確保も重要な課題であると考えます。さらに、近年の社会問題となっているバス運転手不足は、スクールバスの運転手確保へ与える影響も大きいと推察します。こうした状況ではありますが、引き続き、安定的な運転手確保に努めていただきたい。</p>					

小川評価委員

番号	15	評価	A	事業名	スクールバス事業
<p>4番と同様に学びの場の提供のために、距離的、身体的にハンディのある児童生徒の通学のサポートをさらに充実させてあげて欲しいと思います。</p>					

《学校給食センター》

小川評価委員

番号	1	評価	A	事業名	安心・安全な学校給食センター充実
<p>安全・安心を守ることと同時に、予算的な面も含め適切な対応が実行されていると感じました。このような地道な努力があるからこそ、楽しい給食の時間が生まれるのだと改めて認識いたしました。</p>					

長尾評価委員

番号	1	評価	A	事業名	安心・安全な学校給食センター充実
<p>関市の給食においては、品数問題、異物混入、小バエの発生などの不満や苦情は聞こえてこない。給食センターの日頃の地道な努力の積み重ねだと考える。この「当たり前」を今後も維持していただきたい。</p>					

北瀬評価委員

番号	2	評価	A	事業名	食物アレルギーへの対応
<p>アレルギー対応検討委員会及びアレルギー対応食判定委員会での慎重な審議により、令和5年9月から鶏卵除去食に加え、乳・乳製品除去食が開始できたことは、大変ありがたいことです。除去食の提供は、細心の注意を払う神経をつかう作業ですが、今後も児童生徒やその保護者のために安心して食べられる給食の提供をお願いいたします。</p>					

小川評価委員

番号	2	評価	A	事業名	食物アレルギーへの対応
<p>ますます複雑化する食物アレルギーへの対応は、摂取した人の健康、極端に言えば、</p>					

生命に関わる可能性があるため非常に難しいと思います。得られた情報、実績はしっかりデータとして保管し今後に活かしてください。

長尾評価委員

番号	2	評価	B	事業名	食物アレルギーへの対応
食物アレルギーのチェック表の作成や受け渡しにおける問題、給食センターや学校現場でおきているヒヤリハットについて、情報の共有、原因の究明、早期の対策が講じられるよう、給食センターの強いリーダーシップを期待したい。					

小川評価委員

番号	3	評価	A	事業名	地産地消の推進
工夫を凝らした献立は、学校給食センターとしての努力の結晶です。しかもそこにストーリーがあるところに心からの敬意を表します。本当に素晴らしいと思います。					

長尾評価委員

番号	3	評価	A	事業名	地産地消の推進
地産地消に積極的に取り組むとともに、給食費を抑制しながら子ども達においしい給食を提供している給食センターの努力を今後も続けていっていただきたい。					

北瀬評価委員

番号	4	評価	A	事業名	食育広報の推進
給食センター施設見学会には、多くの希望者があり学校給食への関心の高さが伺われます。普段は入ることのできない調理場へ入り、実際に使用する器具等を手にすることで、さらに給食への興味関心が深まることを期待します。					

小川評価委員

番号	4	評価	A	事業名	食育広報の推進
刃物のまちに暮らす者として、最低限の調理技術（特に包丁の使い方）を備えていることも大切だと思います。地元の刃物業者と連携するなどして食育の一環として「リンゴの皮むき講座」などはいかがでしょうか。					

長尾評価委員

番号	6	評価	A	事業名	学校給食費の徴収
学校給食費の徴収を給食センターが請け負うことで、学校現場の精神的・物理的負担が大きく軽減され、児童生徒やその家族の人権上のトラブルも見られなくなった。					

《学校教育課》

小川評価委員

番号	2	評価	A	事業名	研究指定校、モデル事業
<p>奇をてらうという訳ではないが、決められた既定路線だけでなく、地域の特色を生かした独創的な研究に取り組んで欲しいと思います。学力向上だけに目を向けず、柔軟な姿勢が大切だと思います。</p>					

長尾評価委員

番号	2	評価	B	事業名	研究指定校、モデル事業
<p>研究指定校、モデル事業では、児童生徒にどんな力をつけさせたいかを明確にし、研究成果が他校に広まっていくよう学校教育課の専門性と指導性を十分に発揮していただきたい。</p>					

長尾評価委員

番号	4	評価	B	事業名	特別支援事業
<p>特別支援教育の充実は、学校教育の重要課題の一つである。桜ヶ丘小中学校の分級、LD/ADHD等通級指導教室、教育相談に関わる職員の専門性の向上を図りたい。</p>					

北瀬評価委員

番号	5	評価	B	事業名	教育相談事業
<p>心の悩みを抱える児童生徒への相談活動を行う「心の相談員」は、学校規模の大小に関わらず、全小中学校への配置を望みます。また、相談員の研修では、可能な範囲で実際の内容を用いるなど、より具体的な対応方法について情報共有ができるものであると良いと考えます。</p>					

小川評価委員

番号	5	評価	B	事業名	教育相談事業
<p>昔と比べて、心の悩みを抱える児童生徒は増加していると思います。相談に来るのを待つだけでなく、こちらからアプローチするくらいのスタンスで、常に気を配ってあげて欲しいと思います。</p>					

長尾評価委員

番号	7	評価	A	事業名	わかあゆプラン事業
<p>わかあゆプラン事業においては、他の市町村がうらやむ程の非常勤講師の数を配置している。T・Tや少人数で授業を行うことで個々の児童生徒の理解力が向上し、職員の負担軽減にもつながるよう継続した配置をお願いしたい。</p>					

小川評価委員

番号	8	評価	A	事業名	外国籍児童生徒等教育相談員派遣事業
<p>今後はさらに多くの外国籍児童生徒への対応が必要になってくるとおもわれます。安心して暮らすことができるよう言葉を加え、文化、習慣などの面における相互理解を深めていって欲しいと思います。</p>					

長尾評価委員

番号	8	評価	B	事業名	外国籍児童生徒等教育相談員派遣事業
<p>外国籍児童生徒については、多国籍化が進んでおり、教師の専門性や指導力が問題となっている。可茂地区のように、学校に行く前に日本語を学習できるような体制づくりが望まれる。</p>					

小川評価委員

番号	9	評価	A	事業名	学校図書利用促進事業
<p>子ども達は本がとても好きだと説明がありましたが、それを聞いてホッとしました。タブレット端末にばかり気を取られることのないように、ページをめくって指先の感覚をもちながら本を読む大切さを伝え続けてください。</p>					

小川評価委員

番号	10	評価	A	事業名	学校各種教育事業
<p>産業、自然、観光、歴史など地域の特色をしっかりと伝え、その誇りと自覚を持たせてあげることが、今後の関市を担う人材の育成につながると思います。地元を深く知ることがとても大切だと思います。</p>					

小川評価委員

番号	11	評価	B	事業名	学校保健事業
<p>「予防」という守りだけでなく、健康を維持、増進させるための攻めの指導にもさらに注力して欲しいと思います。</p>					

《まなびセンター》

長尾評価委員

番号	1	評価	A	事業名	教職員の資質向上研修 オンラインによる研修
	2		A		教職員の資質向上研修 夏期重点研修
	3		A		教職員の資質向上研修 初任者研修
	4		A		教職員の資質向上研修 授業力向上研修
	5		A		教職員の資質向上研修 カリキュラム・マネジメント研修

	6		A		教職員の資質向上研修 学級活動研修
	7		A		教職員の資質向上研修 ほめ方向上研修
<p>初任者、指導力に課題のある教師、将来関市を背負って立つ教師等それぞれのライフステージに応じた研修を充実するとともに、まなびセンター職員によるきめ細やかなフォローアップをお願いしたい。</p>					

小川評価委員

番号	7	評価	A	事業名	教職員の資質向上研修 ほめ方向上研修
<p>最近の若者との接し方は、とても難しくなっています。会社経営をしてもそう強く感じます。「ほめて育てよ」と言いますが、そればかりでは上手くいきません。「叱り方」についても学ぶ必要があるかもしれません。</p>					

長尾評価委員

番号	11	評価	B	事業名	STEAM 教育の推進 ICT 支援員による学校訪問
<p>STEAM 教育を推進するための ICT 支援員による学校訪問が激増している。十分な指導・支援のために ICT 支援員の数を増やすことを検討したい。</p>					

小川評価委員

番号	19	評価	A	事業名	不登校児童生徒への支援 「ふれあい教室」の運営
<p>学校復帰やふれあい教室に通級ができた児童生徒が37名いたということは大きな成果だと思います。もちろん本人と家族の勇気と頑張りの賜物だと思いますが、支援体制と学級対応による好結果だと理解します。</p>					

北瀬評価委員

番号	20	評価	A	事業名	不登校児童生徒への支援 ふれあい親の会の開催
	21		A		不登校児童生徒への支援 子育て保護者研修会
	22		A		不登校児童生徒への支援 通信制高等学校等説明会
	23		B		不登校児童生徒への支援 子ども家庭課との連携
	24		B		不登校児童生徒への支援 不登校予防対策事業(発達心理検査)
	25		B		不登校児童生徒への支援 関市校内フリースクール (L教室)
<p>不登校児童生徒が年々増えていることを大変心配しています。近年では、不登校児童生徒の学習対策として、タブレット端末を活用し、学校以外の場所でも学習が可能になっています。しかし、子ども達には、学習以外にも人と関わることや助け合うことなど、社会で生きていく力を身に付けることも重要なことだと考えています。不登校の理由は様々で、容易に解決できるものではないと思いますが、学習以外でも自分が輝くことのできる「何か」を見つけられるよう、引き続き児童生徒や保護者に寄り添った教育(相談)をお願いします。</p>					

小川評価委員

番号	20	評価	B	事業名	不登校児童生徒への支援 ふれあい親の会の開催
<p>参加人数が減ったことが残念です。もし出席することに何らかの気負いがあるとなれば、対面に加え、オンライン方式の活用によって、より参加しやすい環境を作ること大切なのではないでしょうか。</p>					

長尾評価委員

番号	23	評価	B	事業名	不登校児童生徒への支援 子ども家庭課との連携
<p>不登校児童生徒への支援については、子ども家庭課及び関係課、団体、民間のフリースクール等とも連携を図り、セーフティネットをできるだけ広くまた継続的に取り組んでいけるようにコーディネートをお願いしたい。</p>					

長尾評価委員

番号	25	評価	A	事業名	不登校児童生徒への支援 関市校内フリースクール（L教室）
<p>関市内の学校に複数L教室を設置できたのは、大きな成果である。今後は、各校での取り組みの成果を情報共有しながら、岐阜市の草潤中学校とは異なる関市方式のL教室の良さを見いだしていただきたい。</p>					

小川評価委員

番号	26	評価	A	事業名	児童生徒の学習支援・能力開発 関市子ども美術展
	27		A		児童生徒の学習支援・能力開発 関市小中学校連合音楽会
	28		A		児童生徒の学習支援・能力開発 関市児童生徒科学作品展
<p>児童生徒には、学力、体力以外の分野でも能力が発揮でき、努力が認められる場が1つでも多く与えられるといいと思います。さらに多くの展示会、発表会が開催されることを望みます。</p>					

《関商工高等学校》

小川評価委員

番号	1	評価	A	事業名	教育振興事業
<p>実習装置の充実は、教育（授業）の充実と向上につながります。今後もますます注力して欲しいと思います。また、図書購入と併せて、図書館（室）利用機会の確保、貸出しの促進にも努めて欲しいと思います。</p>					

長尾評価委員

番号	1	評価	A	事業名	教育振興事業
<p>令和5年度の学校評価では、「本校に入学できたことに満足している」生徒や保護者</p>					

の回答が95%近くある。また、「いじめや差別に厳しく対応している」についても評価が高い。本校の教育が、生徒や保護者、地域からも理解が得られていることがわかる。ICTの活用について、保護者の24%が「よくわからない」と回答しているが、実際に生徒達は、ICTの活用が授業の理解につながっていると評価している割合が90%を超えている。今後は、ICTの活用について、オープンスクールや広報等で積極的に伝えていく必要がある。世界の動きや時代の変化に応じ、カリキュラムを変更・改善するとともに新しい実習機器やPC、ソフト等を計画的に購入できるよう見直しをもった予算の運用をお願いしたい。

小川評価委員

番号	2	評価	A	事業名	学校施設の維持管理事業
風水害に加え、地震に対する備えを万全にして欲しいです。生徒の個人情報漏洩問題が全国で時々発生しています。データ管理体制及び必要機器の整備を凶って欲しい。					

長尾評価委員

番号	2	評価	B	事業名	学校施設の維持管理事業
猛烈な暑さから生徒の学ぶ環境を守るため、教室や特別教室の空調設備を整え、屋外での活動で熱中症を引き起こさないような環境整備に努力する必要がある。					

北瀬評価委員

番号	5	評価	A	事業名	保健事業
常に健康（身体・心）な状態で学校生活を送るために、定期的な健康診断やストレスチェックの実施は重要なことです。また、健康診断後の指導や治療勧告についても速やかに実施していただくとともに、引き続き生徒・教職員の健康管理に努めていただくようお願いします。					

小川評価委員

番号	5	評価	A	事業名	保健事業
とりわけ心の病への対応に努めて欲しいと思います。生徒・教職員ともにストレスチェック等を定期的実施し、カウンセラーの招聘を含めて、適宜対処できる体制づくりの構築が大切だと思います。					

《その他》

小川評価委員

地域の宝として大切にすべき児童生徒を様々な側面から支える各担当部署の方々から具体的な報告、説明を受け、改めてその活動の意義を認識し、課題解決への努力を					
---	--	--	--	--	--

知ることができました。それぞれの日頃の活動に対し、深く感謝申し上げます。評価表で述べましたが、できるだけ多くの表彰項目、表彰制度を設け、1人でも多くの児童生徒がその対象となることを望みます。

また、近年は、STEAM教育の促進が図られていますが、何か具体的な成果は出ているのでしょうか。教育の手法も時代とともに変化してきていますが、一度過去を振り返り、当時行われていた運営方法を現代風にアレンジしてみるなどしてみてはいかがでしょうか。案外、児童生徒にとっては、新鮮で思わぬ効果が出るかもしれません。

いずれにいたしましても、今回このような機会をいただき、本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

長尾評価委員

他課と同じように、目標値の設定は必要であると思うが、教育の現場では数値として表しにくいものがあることを関係者は理解し、事業点検をしていくことが大切であると考えている。

目標値の設定 【関市教育振興計画からの抜粋】

基本方針1 多様性を尊重し、豊かな心を身に付ける教育の実現

1. 多様なニーズに対応した教育機会の提供

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
友達と協力するのは「楽しい」という児童生徒の割合（R8、R13）	小学校 93.7%	小学校 72.0%	小学校 74.0%
友達関係に「満足している」「どちらかといえば満足している」と思う児童生徒の割合（R5）	中学校 87.7%	中学校 71.0%	中学校 73.0%
	平均 90.8%	平均 71.5%	平均 73.5%
自分と違う意見について考えるのは「楽しい」「どちらかといえば楽しい」という児童生徒の割合	小学校 72.9%	小学校 64.0%	小学校 66.0%
	中学校 73.3%	中学校 75.0%	中学校 77.0%
	平均 73.1%	平均 69.5%	平均 71.5%
初期適応指導教室の利用児童生徒数	48人	25人	30人
外国人児童生徒等教育相談員の学校訪問回数（指導時間数）	1,619回 （4,048時間）	1,800回 （4,500時間）	2,000回 （5,000時間）
就学援助費認定者数（%維持）	10.2%	11.0%	11.0%

2. 豊かな心の育成

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う児童生徒の割合	小学校 90.7%	小学校 90.0%	小学校 92.0%
	中学校 83.7%	中学校 89.0%	中学校 91.0%
	平均 87.2%	平均 89.5%	平均 91.5%

3. 教育相談・教育支援の充実と学校支援体制の構築

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
学校へ行くのは「楽しい」「どちらかといえば楽しい」と思う児童生徒の割合	小学校 85.2%	小学校 85.0%	小学校 87.0%
	中学校 82.0%	中学校 86.0%	中学校 88.0%
	平均 83.6%	平均 85.5%	平均 87.5%
子ども家庭課等と不登校児童生徒情報の情報共有率	—	55.0%	60.0%
「ふれあい教室」状況改善児童生徒割合	77.1%	83.0%	85.0%

4. 安全安心な教育環境の整備

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを「守っている」「どちらかといえば守っている」という児童生徒の割合	—	小学校 75.0%	小学校 78.0%
		中学校 70.0%	中学校 73.0%
		平均 72.5%	平均 75.5%

1日当たり、テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンも含む）をするのが2時間以内という児童生徒の割合	—	小学校 56.0% 中学校 47.0% 平均 51.5%	小学校 58.0% 中学校 49.0% 平均 53.5%
---	---	------------------------------------	------------------------------------

基本方針2 個別最適な学びと協働的な学びを通して、確かな学力を身に付ける教育の実現

1. 確かな学力の育成

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
「コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」の設問で、『ほぼ毎日』と回答する割合	小学校 78.2% 中学校 76.4%	80.0%	100.0%
学校の授業時間以外に、普段1日に1時間以上勉強をしているという児童生徒の割合	小学校 64.9% 中学校 69.0% 平均 66.9%	小学校 93.0% 中学校 95.0% 平均 94.0%	小学校 95.0% 中学校 97.0% 平均 96.0%
国語・算数（数学）の授業の内容は「よくわかる」「どちらかといえばわかる」という児童生徒の割合	小学校 国語 84.4% 算数 83.9% 中学校 国語 79.1% 数学 75.4%	小学校 国語 80.0% 算数 86.0% 中学校 国語 78.0% 数学 77.0%	小学校 国語 82.0% 算数 88.0% 中学校 国語 80.0% 数学 79.0%
関市独自の取組（「英語語彙力テスト」「英語スピーチコンテスト」「プログラミングコンテスト」「理科・数学コンテスト」「ビブリオトーク」等）への参加校の割合	66.0%	70.0%	80.0%
自分が思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことが「できる」「どちらかといえばできる」という児童生徒の割合	—	小学校 69.0% 中学校 81.0% 平均 75.0%	小学校 71.0% 中学校 83.0% 平均 77.0%
明日を担う人づくり事業（地域企業と連携した出前授業・職業講話）参加校の割合	77.7%	60.0%	70.0%

2. 教職員の資質や指導力の向上

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
夏季資質向上研修参加者の評価	90.8%	75.0%	80.0%
オンライン研修参加者の評価	100.0%	75.0%	80.0%
時間外勤務時間45時間以上の職員の割合	15.0%	20.0%未満	10.0%未満

3. 健やかな体の育成

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
肥満傾向の児童生徒の割合 (学校保健健康状態調査)	小学校：9.9% 中学校：9.5%	小学校：9.5%未満 中学校：9.0%未満	小学校：9.0%未満 中学校：8.7%未満
朝食を食べている児童生徒の割合	小学校：85.2% 中学校：82.7%	小学校：90.0% 中学校：90.0%	小学校：91.0% 中学校：91.0%
新体力テスト総合得点 (全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	小5男子：54.1 小5女子：54.9 中2男子：42.4 中2女子：49.2	小5男子：53.0 小5女子：56.0 中2男子：43.0 中2女子：49.0	小5男子：54.0 小5女子：56.5 中2男子：44.0 中2女子：50.0

4. キャリア教育の充実

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
将来の夢や目標をもっているという児童生徒の割合	小学校 56.9% 中学校 45.4% 平均 51.1%	小学校 81.0% 中学校 78.0% 平均 79.5%	小学校 83.0% 中学校 80.0% 平均 81.5%
中高交流教育(出前授業)の年間実施校数	1校	3校	5校
夢の教室実施校割合(全27校)	事業中止	100.0%	100.0%

5. 就学前教育・保育の充実

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
幼・保・小連携推進会議の年間実施回数	2回	2回	2回

基本方針3 ふるさと教育や地域との関わりを通して、社会性を身に付ける教育の実現

1. ふるさと教育の充実

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
総合的な学習の時間等でふるさと教育を実施している学校の割合	100.0%	100.0%	100.0%
自分には「よいところがある」「どちらかといえばある」という児童生徒の割合	小学校 86.1% 中学校 76.1% 平均 81.1%	小学校 80.0% 中学校 83.0% 平均 81.5%	小学校 83.0% 中学校 85.0% 平均 84.0%

2. 地域に開かれた学校づくり

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
今住んでいる地域の行事に参加しているという児童生徒の割合	小学校 67.8% 中学校 57.7% 平均 62.7%	小学校 66.0% 中学校 72.0% 平均 69.0%	小学校 68.0% 中学校 74.0% 平均 71.0%

基本方針4 地域や他校種との連携を通して、専門性の高い教育の実現（関商工高等学校）

1. 地域社会人（地域人材）の育成

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
就職内定率 （内地元企業）	100.0% （41.0%）	100.0% （45.0%）	100.0% （50.0%）

2. 専門教育の推進

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
全商検定1級 3種目以上取得者割合	36.5%	45.0%	50.0%
ジュニアマイスター顕彰特別表彰・ ゴールド・シルバー取得者割合	9.3%	17.0%	20.0%

3. 部活動の充実

	令和5年度実績	令和8年度	令和13年度
部活動加入率	99.4%	100.0%	100.0%